

## しまなみ

尾道市立市民病院広報誌

新年号

発行日:平成22年1月

〒722-8503  
尾道市新高山3丁目1170-177  
tel:0848-47-1155  
fax:0848-47-1004  
<http://www.onomichi-hospital.jp/>

撮影者:写真家 村上宏治

## 尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で  
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



## あけましておめでとうございます。

尾道市立市民病院院長  
太田 保

平素から当院の運営にご協力いただき、ありがとうございます。

昨年は自民党から民主党への政権交代があり、小泉内閣を中心とした低医療政策が改善されるのではという希望がありましたが、やはり経済至上主義がまだまだ続いているように感じております。今年の診療報酬改正が非常に気がかりです。

日本の医療が崩壊に向かっている要因に低医療政策とマスコミの医療者への言われなき攻撃、医療事故への告訴、それらを原因とした患者のモラル低下、それに伴ういわゆるコンビニ受診などです。現在のコンビニ受診が続けば尾道の救急が崩壊するのは時間の問題であろうと感じております。

当院の救急は、尾道市医師会、松永沼隈地区医師会、JA尾道市総合病院の先生方にご協力いただき、何とか持ちこたえているのが現状であります。本来、夜間の救急診療は尾道の医師で担うべきと考えており、今後救急体制の見直しが必要と考えております。先生方のご協力をお願いします。

昨年は「人」の重要性を思い知らされた年でした。このことから、当院の基本理念に次の一項目を追加しました。それは、「職員の安全、健康を守

り、プライドを守り、楽しい職場を作ります」という項目です。

また、「患者様」を「患者さん」に変更しました。職員のプライドを守るためには、職員自身のレベルの向上が必要です。このため、接遇やその他の研修に更に力を入れていきます。

本年度の事業としては、現在工事中ですが最新のリニアックを導入し、更に休止中の5階東病棟に外来化学療法室、薬剤ミキシング室、緩和ケア強化室（入院用）及び緩和ケア相談室を設置し、がん治療のさらなる充実を図る予定です。

医療状況の変化にかかわらず変わらないものは「医療従事者は愛、倫理観を持って患者さんを診る」ことであります。

本年も職員一同頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



## ニコチン依存症と禁煙外来

世の中は禁煙の流れに向かっていきます。平成15年に施行された健康増進法では「学校、病院、官公庁などでは受動喫煙を防止するよう努めなければならない」と規定され、これにより多くの公共施設が禁煙化や分煙化(喫煙場所と非喫煙場所を分けること)の方向へ進んでいます。尾道市立市民病院でも、以前より院内の分煙化に取り組んでいましたが、2009年2月より院内の全面禁煙化を実施し、これに伴い「禁煙外来」を開設しました。

禁煙がとても困難であることは禁煙を試みたことのある喫煙者やその周囲の人ならよく理解できるのではないのでしょうか。禁煙が困難なのは個人の意志の問題ではなく、タバコが麻薬や覚せい剤と同じくらい依存性が強いという問題があるためです。喫煙者の大半は「ニコチン依存症」という疾病と考えられています。タバコを吸うと、肺の血管から吸収されたニコチンが脳内にあるニコチン受容体に結合します。このとき脳内にドパミンやノルエピネフリン、アセチルコリンなど数種類の化学物質が放出され、脳に快楽や興奮をもたらします。この作用は麻薬や覚せい剤と同じで、これがタバコを「うまい」と感じる仕組みです。逆に脳内にニコチンが供給されないと通常

## 禁煙



よりもドパミン分泌が減るなど脳の働きが低下します。これがニコチン切れの「イライラ」という仕組みであり、一種の禁断症状といえるでしょう。

このような脳の仕組みを研究して開発された新しい薬が2008年より国内で保険適応になりました。この薬はニコチン受容体にくっつき、ニコチンの代わりになるため、ニコチン切れの「イライラ」を軽くするばかりでなく、ニコチンが受容体にくっつくのを阻害するため、タバコを「うまい」と感じにくくする働きがあります。そのため、この薬を使った禁煙は従来の禁煙法より成功率が高くなっています。

このほかにも、喫煙には精神的依存も関与するといわれていますが、これを取り除く心理学的アプローチも行いながら禁煙をサポートしていくのが禁煙外来です。

禁煙ができれば、タバコがなくても「イライラ」することはなくなり、このとき初めて、タバコを「吸いたい」という気持ち

がニコチンによりコントロールされていたことがわかります。禁煙をすることで心も身体も健康になります。禁煙したい方、禁煙を勧めたい方、禁煙外来をぜひご一考ください。

禁煙外来担当医師 上田 武滋

## 禁煙補助薬について

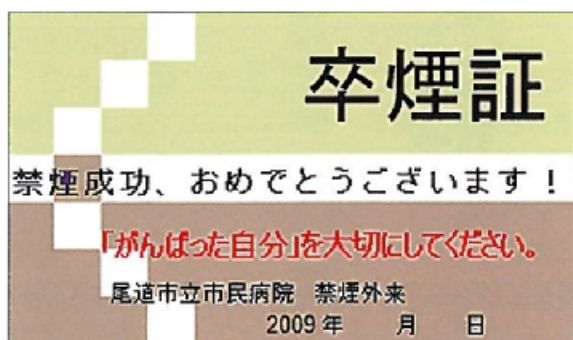
	従来の禁煙補助薬	新しい禁煙補助薬(当院の禁煙補助薬)									
薬のはたらき	ニコチン剤(血中のニコチン濃度を保つことで、イライラや集中力低下などの禁煙症状を抑えます。)	ニコチンを含まないタイプの飲み薬(ニコチンと同じ受容体に作用しイライラなどのニコチン切れ症状を軽くするほか、タバコをおいしいと感じにくくします。)									
薬のタイプ	○ガムタイプ⇒ニコチンを含んだガムで、口の粘膜からニコチンを吸収します。薬局・薬店で購入します。 ○パッチタイプ⇒ニコチンを含んだ皮膚に貼る薬です。薬局・薬店で購入するタイプと、医師に処方してもらうタイプがあります。	○内服タイプ⇒ニコチンはまったく含まれていません。飲み始めの1週間はタバコを吸いながら服用し、8日目には禁煙を開始します。医師に処方してもらいます。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">第1週</th> <th>第2~12週</th> </tr> <tr> <th>1~3日目</th> <th>4~7日目</th> <th>8日目~</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.5mg錠 1日1回 食後 (朝昼夕は同じません)</td> <td>0.5mg錠 1日2回 朝夕食後</td> <td>1mg錠 1日2回 朝夕食後</td> </tr> </tbody> </table> <p>▲8日目に禁煙開始</p>	第1週		第2~12週	1~3日目	4~7日目	8日目~	0.5mg錠 1日1回 食後 (朝昼夕は同じません)	0.5mg錠 1日2回 朝夕食後	1mg錠 1日2回 朝夕食後
第1週		第2~12週									
1~3日目	4~7日目	8日目~									
0.5mg錠 1日1回 食後 (朝昼夕は同じません)	0.5mg錠 1日2回 朝夕食後	1mg錠 1日2回 朝夕食後									

## 禁煙外来を活用して「卒煙」をめざしましょう！

当院では2009年2月から「禁煙外来」を発足いたしました。喫煙によって、肺がん・肺気腫等の呼吸器疾患や心筋梗塞・脳卒中等の血管系疾患、胃・十二指腸潰瘍、更に皮膚の老化や歯肉炎、妊婦さんにいたっては、早産や成長発達遅延のリスクが高くなります。すでに糖尿病や心・脳血管障害等の既往歴のある方は、より大きな影響があります。また、最近では、法律で禁止されているにも関わらず未成年の喫煙も増加しています。喫煙開始年齢が早いほど虚血性心疾患での死亡率や50歳代での死亡率が高くなるとも言われています。喫煙は「ニコチン依存症」であり、世界的にも

疾病の1つとして位置づけられています。病気の治療・ケアという観点からすれば、喫煙者を禁煙に導くことは「禁煙治療」であり、保険診療の対象になっています。専門外来の一つとして「禁煙外来」があるのは、不思議なことではなく、喫煙に関する検査、投薬等の治療、生活指導が実施されます。医師と看護師が連携して禁煙をサポートしています。禁煙外来開始後、のべ約150人（2月～9月）の方が受診され、その成功率は70～80%です。

副院長兼看護部長 山田 佐登美



### 尾道市立市民病院 禁煙外来受診の流れ

予 約：（毎週月曜日午後診療）  
内科外来で予約します。  
お電話でも予約できます。

初回受診・問診  
・ 血圧測定  
・ 呼気CO濃度測定  
・ 禁煙の必要性や禁煙方法等  
 についての説明  
・ 同意書の作成  
・ 投薬等  
・ 次回受診日の決定

再 受 診：2～4週間ごと4～5回程度  
（治療状況によって異なります）

## 科別診療割表

科別	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科	1 診	山脇 泰秀 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	藤野 寿幸 内分泌代謝	山脇 泰秀 内科全般	藤野 寿幸 内科全般	
	2 診	藤野 寿幸 内分泌代謝	水戸川 剛秀 消化器	橋本 昌美 甲状腺・腎臓	水戸川 剛秀 消化器	鎌元 紀和 内科全般	
	3 診	城戸 雄一 糖尿病	開原 正展 腎・高血圧	開原 正展 腎・高血圧	橋本 昌美 アレルギー・腎臓		
	4 診		橋本 洋夫 リウマチ・膠原病		城戸 雄一 糖尿病		
総合診療科 呼吸器科		巻幡 清 前島 玲二郎 <sup>#1</sup> 辰川 匡史 <sup>#2</sup>	太田 保	太田 保 巻幡 清	太田 保 川真田 修	岩戸 真紀 巻幡 清	木曜日は外科外来で診察 ※1 第1・3月曜日 ※2 第2・4月曜日
消化器科	診察	前島 玲二郎 <sup>#3</sup>	辰川 匡史	前島 玲二郎	前島 玲二郎	辰川 匡史	内視鏡等検査 ※3 隔週交代 ※4 第1・3・5火曜日 ※5 第2・4火曜日
	検査	辰川 匡史 <sup>#3</sup> 川野 誠司	加藤 順 <sup>#4</sup> 平岡 佐規子 <sup>#5</sup>	前島 玲二郎 浦岡 俊夫	前島 玲二郎	辰川 匡史	
	診察 検査	小林 博夫 高村 俊行 河合 勇介 杉山 弘恭	河合 勇介 小林 博夫 高村 俊行 杉山 弘恭	高村 俊行 小林 博夫 河合 勇介 杉山 弘恭	高村 俊行 小林 博夫 河合 勇介 杉山 弘恭	小林 博夫 高村 俊行 河合 勇介 杉山 弘恭	心エコー等
神経内科			岡本 美由紀			逸見 祥司	
外科	1 診	太田 保 外科全般	宇田 征史 消化器、鏡視下	宇田 征史 外科全般	中井 肇 肝、胆、脾、消化器	中井 肇 肝、胆、脾、消化器	
	2 診	村田 年弘 外科全般	上塚 大一 消化器、ヘルニア	上塚 大一 肛門科	川真田 修 呼吸器	川真田 修 乳腺、食道	
整形外科	1 診	廣岡 孝彦	藤井 淳一	廣岡 孝彦	小瀬 靖郎	廣岡 孝彦	
	2 診	藤井 淳一	東條 好憲	小瀬 靖郎	東條 好憲	川上 直明	
	3 診	小瀬 靖郎	装 具	川上 直明	藤井 淳一	装 具	
小児科	1 診	佐藤 正義	山上 恵美	佐藤 正義	山上 恵美	佐藤 正義	
	2 診	山上 恵美	佐藤 正義	山上 恵美	佐藤 正義	山上 恵美	2診は10時より診察
脳神経外科		土本 正治	相原 寛	岩戸 英仁	土本 正治	相原 寛	
産婦人科	新患再来 妊婦健診	大村 裕一	岸本 佳子 大村 裕一 <sup>*</sup>	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	※10時30分より診察
皮膚科		上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋	
泌尿器科	1 診	大枝 忠史	甲斐 誠二	大枝 忠史	野崎 邦浩	大枝 忠史	
	2 診	野崎 邦浩		野崎/甲斐 <sup>*</sup>	大枝 忠史	甲斐 誠二	※隔週交代
耳鼻咽喉科		木村 信次	木村 信次	木村 信次	木村 信次	木村 信次	
眼科		諫見 久恵	諫見 久恵	諫見 久恵	手術	諫見 久恵	
放射線科	画像診断	三船 啓文 山本 泰宏	三船 啓文 山本 泰宏	三船 啓文 山本 泰宏	三船 啓文 山本 泰宏	三船 啓文 山本 泰宏	
	治療					勝井 邦彰	
歯科・歯科口腔外科		吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘	予約診療
内科		検診	検診	検診	検診	検診	
循環器科			ペースメーカー外来 高村俊行・河合勇介				14時から
循環器科検査 外科		心カテ	検査	心カテ	検査	心カテ	13時から17時
整形外科		手術	手術	手術	手術	手術	
小児科			乳児検診	予防接種	慢性疾患 予約外来	慢性疾患 予約外来	月～金 脳波検査
脳神経外科		検査	手術	検査	手術	検査	
産婦人科			母乳学級 1か月検診 手術	母乳学級 <sup>*</sup>	母乳外来 1週間検診 手術	1週間検診	※第2・3・4週のみ
皮膚科		手術	検査	手術	検査	検査	
泌尿器科		手術	手術	検査	手術	検査	予約外来 検査
耳鼻咽喉科		手術	検査	睡眠時無呼吸外来	手術	検査	
眼科		検査	検査	検査	検査	検査	
放射線科		画像診断	画像診断 血管造影	画像診断	画像診断 血管造影	画像診断	
歯科・歯科口腔外科		手術	手術	口腔外科	手術	口腔外科	予約診療
専門外来		乳腺外来(松岡)	血管診療検査 (血管診療センター)	睡眠時無呼吸外来	血管診療検査 (血管診療センター)	1週間検診	予約制
		禁煙外来(上田)	ペースメーカー外来 母乳外来 1か月検診	母乳学級	母乳外来 1週間検診		

休 診 日  
診療受付時間

土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日  
午前中は午前8時30分から午前11時まで

代表電話 ☎ 0848-47-1155 地域医療連携室 ☎ 0848-47-1170